

大宰帥大伴 卿の京に上りし後に、沙弥
満誓、卿に贈る歌二首

五七二番

まそ鏡 かがみ 見飽かぬ君に きみ 後れてや おく 朝夕に あしたゆふへ さ
びつつ居らむ を

五七三番

ぬばたまの 黒髪変はり くろかみか 白けても しら 痛き恋には いた こひ
あふ時ありけり

大納言大伴 卿の和ふる歌二首

五七四番

ここにありて 筑紫やいづち つくし 白雲の しらぐも たなびく
山の やま 方にしあるらし かた

五七五番

草香江の くさかえ 入江にあさる いりえ 蘆鶴の あしたづ あなたづたづ
し とも 友なしにして